

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)	
1	自主性及び創造性の尊重	1-1 文化芸術活動環境の整備	● 自主的・創造的な文化芸術活動拠点の提供	1	利根山光人記念美術館管理事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】市民の文化的資質の向上に資する。 【概要】施設管理に係る警備及び消防設備点検(委託)、清掃、非常勤職員4名の雇用、入館者への施設案内説明、観覧料等の収納、館外草刈・立木等管理、利根山画伯の美術作品の保険加入手続き、管理美術館通信の作成・印刷・配布	▶開館日数242日 (4月1日から11月30日まで無休) ※企画展示による臨時休館日あり ▶美術館通信発行年4回×400部 ▶周辺草刈実施1回 ▶入館者935人	1,532	A		開館日数242日(4月1日から11月30日まで無休) ※企画展示による臨時休館日あり 美術館通信発行年4回×400部、周辺草刈実施2回を予定	2,382
				2	自治公民館整備費補助金 (1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】地域活動の助長を図る。 【概要】地域住民の学習や各種活動の拠点施設の整備支援	新築1件、修繕10件	5,879	B	施設の老朽化による修繕予算の増	新築1件、修繕11件、農業集落排水・緊急修繕	6,150
				3	生涯学習センター管理事業 (1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】生涯学習の中核施設として、学習機会の提供や各種団体の自主活動の場の提供を行う。 【概要】生涯学習を推進する中核施設としての管理費	▶生涯学習センターの管理やサークル団体への施設貸出 ▶開館日数:342日 ▶利用延べ人数:32,574人 (前年比-7,813人)	115,121	C	利用者の固定化と減少	生涯学習センターの管理。サークル団体への施設貸出。 ◆【新】センター予約システムの見直し	118,062
				4	日本現代詩歌文学館管理運営事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】貴重な詩歌資料が良好な環境で保存され、詩歌研究の拠点施設として、利用者が快適に安全に利用できる環境を整える。 【概要】展示、貸室、講座、文学館賞贈賞式、雑草園管理公開、施設維持運営、資料収集・分類・保存、レファレンス	▶開館日数:343日 ▶レファレンス件数:201件 ▶来館者延べ人数:20,861人	126,391	B	増え続ける資料の保管	施設使用許可、施設利用料金徴収、展示、講座、文学館賞贈賞式、雑草園管理公開、施設維持運営、資料収集・分類・保存、レファレンス、こどもの俳句や詩の教室・ワークショップ	132,222
				5	文化交流センターさくらホール管理事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】利用者のニーズに応えられる施設整備により、利用者が快適に利用でき、文化活動への市民参加が拡大する。 【概要】さくらホール施設の貸館受付案内、各種文化事業の開催及び情報発信、施設点検整備、修繕及び清掃、警備	稼働率 ▶大ホール:54.6% ▶中ホール63.5% ▶小ホール96.4% ▶ファクトリー90.2%	321,470	A		施設使用許可、施設利用料金徴収、施設維持管理	330,768
				6	文化交流センターさくらホール修繕・整備事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】施設の安全性向上。 【概要】文化交流センターの施設及び設備機器の経年劣化、故障等に伴う工事	▶照明制御装置修繕工事:13,090千円 ▶熱交換器修繕工事:3,410千円 ▶手動排煙窓修繕工事:2,008千円 ▶インターネット環境整備工事4,180千円 ▶屋上シート更新工事:43,238千円	65,926	—		グランドピアノ整備、火災報知設備更新工事、受電設備更新工事、南面広場改修工事、井水系統修繕工事を予定。	39,588
				7	日本現代詩歌文学館施設整備事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】施設の安全性向上。 【概要】日本現代詩歌文学館の施設及び設備機器の経年劣化、故障等に伴う工事等。	舞台幕吊金具修繕工事	1,012	—		冷却水循環ポンプ更新工事、研究センター照明LED化改修工事を予定	12,232
				8	文化交流センターさくらホール備品購入事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】適正な備品配置や更新によって安全に快適な利用を保つ。	平台の購入	1,408	—		ワイヤレスインカム・マイク、中ホール三点吊装置マイクケーブルの購入を予定	37,752
				9	中央図書館管理運営事業 (1-3-1)	中央図書館	【目的】施設及び設備を良好な状態に維持管理し、図書館の利用を促進する。 【概要】施設・設備の適正な維持管理及び各種施設管理に係る業務委託。図書館資料の貸出・返却、レファレンス、読書相談等の運営。公用車管理。	入館者数 140,587人 開館日数 271日	10,853	—		開館日数 297日を予定	11,217
				10	江釣子図書館管理運営事業 (1-3-1)	中央図書館	【目的】地域住民が生涯学習の場として気持ちよく利用でき、利用者の満足が得られるよう図書館の利用を促進する。 【概要】江釣子図書館の貸出・返却、レファレンス、読書相談、予約処理、館内掲示、各事業の補助。	入館者数 8,632人 開館日数 260日	91	—		開館日数 291日を予定	105
				11	和賀図書館管理運営事業 (1-3-1)	中央図書館	【目的】図書館利用の促進。 【概要】図書館資料の貸出・返却、レファレンス、読書相談、予約処理、館内掲示物の作成・掲示、各事業の補助	入館者数 7,309人 開館日数 266日	164	—		開館日数 291日を予定 ちびっこタイムの導入(週2回2時間程度)	164

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)	
1	自主性及び創造性の尊重	1-1 文化芸術活動環境の整備	● 自主的・創造的な文化芸術活動拠点の提供	12	博物館維持管理事業(本館) (1-3-1)	博物館本館	【目的】観覧者・利用者にとって快適な環境を維持するとともに、博物館資料等の適切な展示・保存環境を維持する。 【概要】警備、清掃、除雪、消防設備点検、浄化槽維持管理、電気工作物保安管理、廃棄物運搬等の施設管理及び敷地内環境保全。備品等の修理・修繕。	開館日数329日、来館者数7,532人	14,094	—		開館日数日330日、来館者目標数6,500人	14,918
				13	博物館分館運営事業 (1-3-1)	博物館和賀分館	【概要】和賀分館(展示室)の受付対応、来館者案内等。	開館日数329日、来館者数2,796人	—	—		開館日数日297日、来館者目標数3,000人	—
				14	鬼の館維持管理事業 (1-3-1)	鬼の館	【目的】良好な資料管理体制の維持と来館者への快適な見学環境の提供。 【概要】各種施設管理業務委託や不具合箇所の修繕を実施。	来館者数 17,571人 委託業務数 5業務(12件は包括管理業務へ移行) 開館日数 318日	9,504	—		来館者数 23,000人目標 委託業務数 5業務(12件は包括管理業務へ移行) 開館日数 331日を予定	9,796
		★ 芸術にふれる機会の提供	15	芸術文化事業の共催・後援事務 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】市民自らの企画による芸術文化事業を共催又は後援することにより、当市の芸術文化の推進を図る。 【概要】共催、後援申請にもとづく共催等の決定及び通知、教育長等出席依頼及び挨拶文依頼の対応、広報周知、取りまとめ等の協力	申請件数25件	—	A		申請に基づく対応	—	
			16	北上市市民芸術祭運営委員会事務 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】北上市民の芸術文化の向上を図る。 【概要】市民芸術祭運営委員の委嘱、運営委員会の開催、芸術祭のつどい日程調整、芸術祭表彰の被表彰者決定、表彰状作成、芸術祭周知に係る広報原稿の調整及びポスター作成配布、芸術祭各部門の賞状作成	▶委員数14名 ▶会議開催2回 ▶芸術祭表彰:10名+2団体	—	A		委員数14名、会議開催1回、芸術祭表彰のとりまとめを行う	—	
			17	北上市市民芸術祭開催費補助金 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】北上市市民芸術祭の開催を通じ、市民の創作意欲と技術が向上する。また、芸術祭に来場することにより、市民の理解と関心が深まる。 【概要】北上市市民芸術祭開催の支援に係る補助	▶参加事業団体数:59 ▶事業参加人数:4,776人 ▶出展数:4,743点 ▶入場者:16,449人	7,000	B	コロナにより一部中止	市民芸術祭の開催、さくらホール、生涯学習センター等での舞台、展示の発表	7,000	
			18	北上市芸術文化協会活動費補助金 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、市民の情懷を豊かにするための芸術文化活動の普及と文化事業の拡充を図る。 【概要】北上市芸術文化協会活動の支援補助金	▶芸術文化活動の普及・振興、市内芸術文化団体間の連絡調整を行った。 ▶北上市市民芸術祭参加:59団体 ▶加盟団体:96団体	280	B	北上市文化芸術基本条例及び北上市文化芸術推進基本計画に基づいた活動	芸術文化活動の普及・振興、市内芸術文化団体間の連絡調整	280	
			19	利根山光人記念美術館企画事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】利根山光人記念美術館が北上市民に身近な存在となり入場者が増加する。 【概要】企画展や出前美術館、親子秋まつりを開催することで利根山光人記念美術館への関心の高揚を促すとともに、芸術文化の振興を図る。	▶企画展3回実施(入館者935人) ▶移動美術館(花巻空港) ▶子どもアートスクール1回(参加者9名) ▶絵画教室年10回(参加者9名)	2,595	A		子どもアートスクール1回、親子秋まつり 1回、絵画教室年10回 ◆【新】企画展の3館合同連携実施(博物館・鬼の館・生涯学習センター) ◆【新】子ども施設での創作活動アウトリーチ実施予定	2,604	
			20	北上市所蔵美術品の管理公開事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	北上市が所蔵する美術作品を公開展示することにより、市民が芸術に触れる機会を提供をする。	▶所蔵美術品:792点 ▶所蔵美術品貸出2件(岩手県立中部病院5点、北上駅2点)	—	B	美術品のカビや汚れの管理が難しい	所蔵美術品貸出 2件	—	
			21	北上市所蔵美術展開催事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	北上市が所蔵する美術作品を公開展示することにより、市民が芸術に触れる機会を提供をする。	▶特別展開催(花巻空港)展示数3点(19再掲) ▶絵画教室終了展(生涯学習センター)展示数3点 ▶移動展(光の会展)展示数8点	—	A		利根山光人記念美術館移動展開催(光の会展)、出前美術館開催(交流センター、生涯学習センター等)	—	
22	北上市市民劇場開催費補助金 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】地域文化創造の発表機会を提供することにより、北上市の芸術文化の振興に寄与する。 【概要】市民の手づくりによる市民劇場の開催。演劇プログラムと本公演を交互開催。	▶第45回北上市市民劇場開催に向けた取材と脚本づくり、再現した劇の稽古と発表「保護司 香山友造/北上人の知られざる日常」	651	A		第45回市民劇場本公演	1,530				

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
1 自主性及び創造性の尊重	1-1 文化芸術活動環境の整備	★ 芸術にふれる機会の提供	23	日本現代詩歌文学館振興会運営費補助金(1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】振興会の活動により文学館が全国に周知され、詩歌資料の寄贈が増加し、より多くの方に資料が有効活用される。 【概要】日本現代詩歌文学館振興会運営への支援会員拡大・資料の収集・館報の発行・贈賞式の開催・寄贈資料の分析、文学館主催事業への協力をを行う。	▶理事会、文学館賞選考委員会及び贈賞式の開催(贈賞式120名参加、3名表彰) ▶活動支援(資料受入支援、詩歌関係の大会等運営支援)	3,275	A		理事会、文学館賞選考委員会及び贈賞式の開催、活動支援(資料受入支援、詩歌関係の大会等運営支援)	4,275
			24	さくらホール開館20周年記念事業費負担金(1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】さくらホールが開館20周年を迎えるため、北上市文化芸術基本条例に即した市民参加型の記念事業を開催するもの。		-	-		◆【新】市民参加型事業、鑑賞公演事業 実施日：令和5年11月18日～19日 ◆【新】小中高生の仙台フィル鑑賞事業	3,000
		● 生涯学習との連携	25	講座開催事業(1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】講座を実施することにより、市民の生涯学習に資する。 【概要】市民大学、市民大学ゼミナール及び富士大学市民セミナーの実施。	▶市民大学及びゼミナール地元学部を統合して、6月～12月まで10回開催(延べ705人参加) ▶夏季講習を1回開催(延べ126人参加) ▶運営委員会2回開催。 ▶ゼミナール法学部は6回開催。(延べ226人参加)	356	B	コロナにより利用者が減少	市民大学及びゼミナール地元学部を統合して、6月～12月までに10回開催予定。運営委員会は3回開催予定。ゼミナール法学部は、12月～3月までに7回開催予定。	746
			26	生涯学習ガイドブック(1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】生涯学習情報を広く提供することにより、生涯学習機会の拡充を図る。 【概要】講座・イベント、講師・指導者、サークル・団体、市内各種施設の情報の提供。	▶ホームページでの情報提供 ▶講師・指導者147人 ▶サークル・団体登録35団体を紹介。	-	B	更新の際、登録講師とのやりとりで複数回連絡を要した	ホームページでの情報提供、講師・指導者、サークル・団体登録。	-
			27	まちづくり出前講座(1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】市民の生涯学習環境を整え、機会を増やすことにより、自主的に生涯学習をする市民が増える。 【概要】自治会、子供会、ふれあいデイサービス等の団体の要望に応じ、市職員や公共機関、民間企業の担当者が会場へ出向いて講座を行う。	▶メニュー数 214(対前年比-13) ▶派遣講座数:229件(対前年比-92件) ▶受講者:7,291人(対前年比+2,137人)	422	C	コロナにより実施できなかった講座が多かった	パンフレット及びポスター作成、配布。広報等による事業周知、申し込み受付、メニュー担当課等と日程調整、講師派遣、講座実績表集計	275
			28	地区交流センター生涯学習事業(1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】自己実現を目指して、様々な方法での生涯にわたって学習しようとする機運の醸成と地域における生涯学習社会の構築 【概要】各地区交流センターの推進員に対して、社会教育を行い、生涯学習事業など地域の学習活動を推進し、地域の学習活動の気運の醸成を図る担い手となるよう人材育成を行う。	▶地区交流センター16地区の推進員に対して年1回研修を実施 ▶(参考値)研修を受け、地区交流センター主催で実施した事業は200事業、センター主催事業に参加した市民は約15,000人。	1,203	B	リピーターに支えられている反面、若年層や新規の参加者が少ない。	地区交流センター推進員に対して年2回研修を実施予定	1,269
			29	自治公民館活動交付金(1-3-1)	生涯学習文化課	【目的】地域の社会教育活動の推進を図る。 【概要】地域住民の活動に対する助成	市内自治公民館249館へ活動交付金を交付	13,327	B	活動場所や代表者変更時の把握が難しい	市内自治公民館251館へ活動交付金を交付予定	13,493
		30	図書館館内・館外奉仕(1-3-1)	中央図書館	【目的】市民の生涯学習を推進するため、必要な資料や情報の提供を行う。 【概要】館内奉仕業務・資料の貸出、返却及び督促・レファレンス、読書相談等。	(館内) 貸出冊数 352,673冊 利用者数 78,112人 予約件数 18,043件 (館外) 貸出冊数 56,435冊 利用者数 3,838人 予約件数 3,174件	-	-		(館内) 貸出冊数 400,000冊 利用者数 117,000人 予約件数 20,000件 (館外) 貸出冊数 53,000冊 利用者数 4,000人 予約件数 3,000件	-	
	31	地域づくり交付金(4-9-2)	地域づくり課	【目的】16地区の地域づくり組織が策定した地域計画を地域住民自らが主体的に実現していくための財政支援を行うことにより、地域づくりを「自ら考え、自ら行う」環境を整備。住民参加のもとに地域活動が活発化され、地域住民の創意と工夫によって生きいきと暮らせる地域社会が形成される。 【概要】16地区の地域づくり組織が行う地域づくり事業、交通安全活動、青少年健全育成活動、健康づくり活動及び自治組織運営に関する費用を交付金として交付する。	▶市内16地区で自治組織による地域づくり活動を実施。 ▶交通安全活動、青少年育成活動、健康づくり、生涯学習に対する交付金を交付 ▶地域づくり事業数は101事業	238,095	A		市内16地区の自治組織による地域づくり活動に対して交付金を交付。	239,818		
	1-2 芸術家と専門人材を生かした活動の充実	● 芸術家と専門人材の活動環境づくり	再	利根山光人記念美術館企画事業(19の再掲)	生涯学習文化課	【目的】利根山光人記念美術館が北上市民に身近な存在となり入場者が増加する。 【概要】企画展や出前美術館、親子秋まつりを開催することで利根山光人記念美術館への関心の高揚を促すとともに、芸術文化の振興を図る。	▶企画展3回実施(入館者935人) ▶子どもアートスクール1回(参加者9名) ▶絵画教室年10回(参加者9名)	2,595	A		子どもアートスクール1回、親子秋まつり 1回、絵画教室年10回 ◆【新】企画展の3館合同連携実施(博物館・鬼の館・生涯学習センター) ◆【新】子ども施設での創作活動アウトリーチ実施予定	2,604

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
2	文化芸術による社会包摂の実現	2-1	ポーターレスな交流と活動の充実	ポーターレスな交流と誰もが参加しやすい環境づくり	地域づくり課	【目的】姉妹都市・友好都市及び諸外国との交流促進を図るとともに、市内在住外国人への情報提供、相談業務、日本語指導等のサービスを行う。また、市民等への語学講座、交流会等を通じ国際理解を深め、国際交流の推進を図る。 【概要】北上市生涯学習センター内に設置した北上市国際交流ルームにおいて、国際交流に関する事業を実施するため、一般社団法人北上市国際交流協会とアドバイザー業務委託契約をし事業を実施。	▶国際交流に関する市民へのアドバイス ▶外国人相談業務 ▶日本語指導など外国人支援事業 ▶利用者数:日本人 4,625人 外国人 1,031人 ▶事業数(講座・交流会等) 6事業 2,259人(延べ参加人数) 日本語指導 38人 318回開催	10,457	B	コロナ禍により一部中止や縮小があった。	国際交流に関する市民へのアドバイス、外国人相談業務、日本語指導など外国人支援事業、多文化共生に係る取り組み等	10,504
						【目的】北上市の将来を担う青少年の外国語によるコミュニケーション能力が強化されるとともに、地域の国際交流・国際理解への熱意が醸成される。 【概要】生涯学習センターを主会場に、小学生(中学年)から大人までを対象にインターナショナルルームを開設する。	▶イングリッシュパークの開催全20回(4年生20人、5年生16人、6年生13人=計49人参加) ▶コーディネーター2名	2,530	B	参加人数についてはコロナ禍の影響あり	イングリッシュパーク・イングリッシュスクエア(コーディネーター養成講座)の開催。	2,530
						【目的】障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去するため、障がい者等の理解を深める研修、啓発を通じて地域住民への働きかけを強化することにより、共生社会の実現を図る。 【概要】講演会や研修会の実施等	▶講演会2回 ①くらし部会主催参加者:リモート12人+会場82人=計94人 ②こども部会主催参加者:リモート55人+会場35人=計90名	131	B	感染状況をふまえた開催方法の検討が必要	講演会1回 参加者100名	240
						【目的】社会参加を促進し、孤独感の解消及び住み慣れた地域での自立生活の助長を図る。 【概要】ひとり暮らし高齢者等に対し、自治公民館等を活用し趣味活動やレクリエーション、介護予防の取り組みや啓発など各種サービスを提供	▶市内全行政区143か所 ▶延べ開催回数832回 ▶延べ利用者数8,521人 ▶地域協力者4,192人 ▶合計参加者12,713人	8,385	B	利用者の固定化と減少、担い手の育成不足	市内全行政区143か所・延べ開催回数1,000回・延べ利用者数10,000人・地域協力者4,500人、合計参加者14,500人予定	14,033
						【目的】遠隔地、および交通手段のない市民等の利便を図り、図書利用の促進を図る。 【概要】サービスステーション102ヶ所を巡回し、貸出・返却、予約処理、レファレンス、読書相談等を行う。	▶利用者数3,798人 ▶運行キロ数4,500km ▶運行日数162日	477	-		利用者数5,000人 運行キロ数4,500km 運行日数170日	768
						【目的】次世代を担う子どもたちに質の高い芸術文化に触れることで、豊かな感受性を育み、鑑賞時のマナーを学ぶ機会とする。 【概要】小学生の芸術鑑賞機会の提供。	▶「BLACK BOTTOM BRASS BAND LIVE！」観賞 ▶参加人数1,537人(児童1,398人、教員88人、社会福祉施設利用者38人、一般鑑賞者13人) ※コロナを理由に2校不参加	1,600	A		2日間公演(コンテンポラリーダンス)	1,980
		子どもや子育て世代の参加促進	生涯学習文化課	【目的】高校生の芸術文化活動の発表の機会を提供することにより、芸術文化活動の裾野を広げる。 【概要】高校生の美術工芸、書道、写真、華道の展示、茶道の実演(予算・高文連補助金、参加料)	▶開催期間:延べ5日間 ▶入場者数579人(美術工芸・写真・書道展475人、茶道実演40人、書道パフォーマンス64人) ▶出品点数152点	-	A		会議2回、参加校4校を予定	-		
				【目的】サトウハチロー氏の業績を永く顕彰するため、「母」への思いをテーマにした詩を全国から募集し、詩を通じた心の教育及び文化交流の促進を図る。 【概要】「おかあさんの詩」全国コンクール開催の支援	▶作品応募:1,850編 ▶審査会開催1回 ▶実行委員会開催4回 ▶企画部会開催3回 ▶表彰式開催1回(入場者190人) ▶入賞作品配布	2,500	B	集計や審査資料準備に時間がかかる	作品募集、表彰式開催(12月予定)。生誕120年、没後50年。江釣子ショッピングセンターに過去の入賞作品を展示。表彰式後、市民団体による母にまつわるパフォーマンスを実施予定。	2,300		
				【目的】貴重な詩歌資料が良好な環境で保存され、詩歌研究の拠点施設として、利用者が快適に安全に利用できる環境を整える。 【概要】展示、貸室、講座、文学館賞贈賞式、雑草園管理公開、施設維持運営、資料収集・分類・保存、レファレンス	▶開館日数:343日 ▶レファレンス件数:201件 ▶来館者延べ人数:20,861人	126,391	B	増え続ける資料の保管	施設使用許可、施設利用料金徴収、展示、講座、文学館賞贈賞式、雑草園管理公開、施設維持運営、資料収集・分類・保存、レファレンス、こどもの俳句や詩の教室・ワークショップ	132,222		
				【目的】市民一人ひとりの鬼に対する認識と関心を深める。 【概要】親しみやすい創作活動や、地域文化の紹介と体験、より詳しい鬼に関する講座などを開催する。鬼ッヅレミュージアム、鬼学講座、鬼っ子わんぱく講座、専任研究員設置	▶和紙面作り(通年) 93人 ▶夏冬休みワークショップ 6回 参加者40人 ▶鬼ッヅの日 12回 参加者数 211人 ▶鬼学講座 2回 受講者数 38人 ▶こどもの日わくわくイベント 中止 ▶夏・冬のわんぱく講座(鬼剣舞体験)(夏6回4人参加、冬5回6人参加)	5,558	B	参加者数に限りのある講座は、希望者に参加をお断りしている。	▶和紙面作り(通年)(アウトリーチ含) ▶夏冬休みワークショップ 6回 ▶鬼ッヅの日 12回 ▶鬼学講座 2回 ▶鬼っ子わんぱく講座(鬼剣舞体験) 各6回	5,974		

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
2 文化芸術による社会包摂の実現	2-1 ボーダーレスな交流と活動の充実	● 子どもや子育て世代の参加促進	41	読書推進事業 (1-3-1)	中央図書館	【目的】幼児から一般まで市民の読書の習慣化を涵養する。 【概要】おはなし会・展示事業・体験「1日図書館司書」・子ども映画界・読書のつどい・図書館ボランティア・図書館資料展・読書ボランティアグループ発表交流会の実施	▶おはなし会2回開催、参加者数50人 ▶「子ども映画会」幼児対象貸切利用380人(8園) ▶岩手県立図書館巡回展「手作り絵本展」3日間で参加者154人 ▶テーマ展16回開催 ▶収蔵資料展3回開催 ▶「国憲草案」「鬼剣舞」「二子いものこ」 ▶読書通帳配布2,550冊 ▶体験1日図書館司書 夏・冬2回開催14人 ▶絵本ふれあいボランティア8回 ▶書架整理ボランティア113回 ▶本の修理ボランティア103人1,785冊 ▶読書ボランティアオリジナル紙芝居の複製印刷及び展示11/1～11/30 ▶読書ボランティアスキルアップ研修会22人 ▶貸出福袋 児童28セット、一般10セット ▶学校支援図書の貸出10回、新規購入3セット24冊 ▶読み聞かせ子育て支援講座全5回参加者4人	427	B	読書に関心のない市民への利用促進・啓発が必要	▶おはなし会開催 ▶幼児対象貸切利用 ▶岩手県立図書館巡回展2回程度 ▶テーマ展 ▶収蔵資料展(前期及び後期) ▶読書通帳配布3,500冊 ▶体験1日図書館司書 夏・冬2回開催 ▶絵本ふれあいボランティア 月1～2回 ▶書架整理ボランティア ▶本の修理月2回 ▶貸出福袋の実施 ▶学校支援図書の貸出	300
			42	ブックスタート事業 (1-3-1)	中央図書館	【目的】絵本を手に取り親子の付き合い方を学ぶことで、生きていくうえで重要な親子間の繋がりがりやきずなの醸成を目指す。また乳幼児期から絵本に触れ、情緒的発達を育てる。 【概要】ボランティアによる4か月健診会場での本の配布	▶ボランティアによる4か月健診会場での配布(配布数482、配布率98.6%)	627	A		ボランティアによる4か月健診会場での配布月3回	760
			43	全国大会等出場補助金 (1-2-2)	教育委員会総務課	【目的】生徒のスポーツ及び芸術文化の向上に対する意識の高揚を図り、保護者の経済的負担の軽減に資する。 【概要】市内の高校が全国規模の大会に参加した場合の出場経費に対し、北上市教育委員会補助金交付基準により一定額を補助するもの。	▶黒沢尻工業高校ラグビー部 ▶黒沢尻北高校ラグビー部 ▶専修大学北上高校吹奏楽部(マーチング) ▶専修大学北上高校吹奏楽部(マーチング・パドワリング) ▶専修大学北上高校野球部 ▶北上翔南高校鬼剣舞部	4,716	A		全国大会に出場する学校に対して交付	4,991
			44	体育大会及び文化コンクール参加費補助金 (1-2-1)	学校教育課	【目的】小・中学校のスポーツ及び文化活動の振興。 【概要】各種大会に対する参加費用の助成	小学校:1校 中学校:9校	12,007	A		小学校:3校 中学校:9校	12,676
			45	和賀地区中学校文化連盟負担金 (1-3-2)	学校教育課	【概要】総合文化祭や音楽発表会の運営費に係る負担金	対象生徒数2,537人	621	A		対象生徒数2,540人	600
			46	小中学校文化活動等共催支援事業 (1-3-2)	学校教育課	【目的】小中学校文化活動等の推進。 【概要】学校教育課主催事業及び共催事業におけるさくらホール使用料負担	共済事業9回開催(中学校吹奏楽部定期演奏会等)	983	A		共済事業開催(中学校吹奏楽部定期演奏会等)	1,080
			47	北上市交通安全対策協議会補助金 (3-8-1)	地域づくり課	【目的】交通安全事業を行う団体に対して補助を行うことにより、団体で行う活動を充実させ、市民の交通安全意識の高揚や、交通事故抑止対策を図る。市内各種団体で構成している北上市交通安全対策協議会と、各地区母の会で構成している母の会連合会の活動を促進させ、地域、家庭での交通安全思想の高揚をはかる。 【概要】北上市交通安全対策協議会と母の会の事業等に対する補助。	交通安全対策の総合的計画的な推進・交通安全季節運動の実施(年5回) ・無事故無違反コンクール ・交通安全ポスターコンクール ・参加体験型実践教室 ・交通安全施設等改善要望 ・交通安全ぬりえ ・交通安全推進モデル地区事業	500	B	市民と協働で実施する交通安全運動等、継続的な活動が必要	交通安全対策の総合的計画的な推進・交通安全季節運動の実施(年5回) ・無事故無違反コンクール ・交通安全ポスターコンクール ・参加体験型実践教室 ・交通安全施設等改善要望 ・交通安全ぬりえ ・交通安全推進モデル地区事業	500
			48	選挙啓発事務 (9-1-15:その他の事務)	選管事務局	【目的】市民の政治、選挙に対する関心を高めるため、啓発活動を積極的に開催し、有権者の政治、選挙への意識の高揚を図る。また投票率の低下傾向及び選挙違反等の発生を防ぐ。 【概要】小・中学生及び高校生を対象とした選挙啓発ポスターの募集・展示	総会の開催(1回) ・明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催(14校、214点応募)	138	—		・総会の開催(1回) ・明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催	237
			★	サポート体制の充実	49	サークル・ボランティア団体紹介 (3-6-2)	障がい福祉課	障がい者の方が参加しているサークルやボランティア団体をホームページで紹介する。	9団体を紹介	-	—	9団体を紹介継続

基本方針		基本施策		具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
2	文化芸術による社会包摂の実現	2-2	障がい者の文化芸術活動の充実	★ 障がい者への活動支援	50	障がい者福祉展開催事業 (3-6-2)	障がい福祉課	【目的】出来るだけ多くの市民に、障がい者の活動状況について理解を深めてもらう。 【概要】障がい者施設や福祉作業所、ボランティア団体等の日頃の活動成果を発表する場の提供を行う。	開催日：令和4年9月17日：江釣子ショッピングセンターPAL (来場者数1,222人、物販516人) 新型コロナ感染対策のため、活動・作品展示のみ実施した。	100	B	感染状況等を踏まえたイベントの開催方法について引き続き検討が必要。	開催日：9月中旬会場：江釣子ショッピングセンターPAL	100
					51	移動支援事業費補助金 (3-6-2)	障がい福祉課	【目的】外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図る。 【概要】社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動の社会参加の際に、ガイドヘルパー等が付き添い、移動中の介護を行う事業の実施に要する経費に対し補助金を交付する。	実利用者12人	1,260	—	利用者12人(見込み)	1,935	
					52	地域活動支援センター事業費補助金 (3-6-2)	障がい福祉課	【目的】障がい者等を通わせ、創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与し、もって障がい者等の地域生活支援の促進を図る。 【概要】地域活動支援センターでの創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを提供した場合に要した経費に対し補助する。	実施事業所：5か所 延べ利用者数：2,048件	8,878	—	実施事業所：8か所 延べ利用者数：R4と同程度の見込み	9,367	
					53	北上市身体障害者福祉協会運営費補助金 (3-6-2)	障がい福祉課	【目的】北上市に居住する身体障がい者の相互の親睦と生活の向上を目的とする「北上市身体障害者福祉協会」の運営を円滑に行い、身体障がい者の福祉の増進を図る。 【概要】スポーツ・レクリエーション、文化活動、障害者理解の啓発活動など同団体の事業や運営費の一部に対し補助金を交付する。	会員数：正会員100人 新型コロナのため主な活動中止	0	C	コロナで主要な活動ができなかった	会員数：正会員100人 スポーツ大会参加、施設研修、交流会、各種講座開催等	150
					再	サークル・ボランティア団体紹介(49の再掲)	障がい福祉課	障がい者の方が参加しているサークルやボランティア団体をホームページで紹介する。	9団体を紹介	-	—	9団体を紹介継続	-	
3	誇りの持てる北上らしきの発信	3-1	地域文化の継承	● 地域文化の継承	54	芸術文化功労顕彰事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】広く市民が功労を知ることができると共に、芸術文化活動に取り組んでいる個人・団体の活動意欲が向上し、芸術文化の人材育成につながる。 【概要】北上市の芸術文化の向上又は発展に優れた功労のあった方を北上市芸術文化功労等顕彰規則により推薦を募り、表彰候補者を審査の上、顕彰委員会で表彰者を決定し表彰する。	▶顕彰委員会開催1回(委員5名) ▶表彰式開催1回(体育功労等表彰式と同時開催) ▶功労賞3名、奨励賞2団体	134	A	▶顕彰委員会開催1回(委員5名) ▶表彰式開催2回(体育功労等表彰式と同時開催)	244	
					55	伝統文化継承事業 (1-3-2)	鬼の館	【目的】民俗芸能の保存伝承と後継者育成の一助となり、鑑賞者の伝統文化に対する意識が向上する。 【概要】解説を交えた鬼剣舞公演や大乘神楽団体の総合的な公演、地域の慣習等を参加体験型で紹介する催事等を開催する。	▶芸能公演：7回8団体開催、見学者数1,129人 ▶大乘神楽大会：コロナで中止 ▶福豆鬼節分会：コロナで中止	606	B	鑑賞者と出演者の熱中症対策が必要	▶芸能公演：12回開催 ▶大乘神楽大会：1回開催、出演団体数7 ▶福豆鬼節分会：1回開催	1,389
					56	景観形成等事務 (3-7-2)	都市計画課	【目的】市民一人ひとりが愛着と誇りをもてる郷土を創るため、良好な景観の形成を推進する。 【概要】市民の景観に対する意識を高め、地域の特性を生かした景観形成につなげていく。	▶きたかみ景観資産認定1件 ▶北上市景観賞2件 ▶景観学習9回(小学校2校) ▶景観資産認定団体支援4件 ▶行為届出書等処理件数164件	1,078	B	取組が幅広く知られていないので参加を促す工夫が必要	▶きたかみ景観資産認定 ▶北上市景観賞 ▶景観学習 ▶景観フォーラム ▶行為届出書等処理	1,628
		3-2	民俗芸能活動の推進と担い手の育成	★ 民俗芸能活動の推進	57	北上市民俗芸能推進事業 (1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】「保存伝承」及び「活用」による民俗芸能を生かしたまちづくりを推進する。 【概要】北上市民俗芸能協会に安定的及び継続的な民俗芸能の推進を担ってもらうために業務委託をするもの。	▶後継者育成発表会「秋のこどもみちのく芸能まつり」の団体調整・舞台演出等のコーディネート(子供団体6団体出演) ▶民俗芸能フェスティバル「鬼よ燃えろ！冬のみちのく芸能まつり」の団体調整・舞台演出等のコーディネート(21団体出演、入場者数645人) ▶民俗芸能功労者表彰4名 ▶人材育成のための民俗芸能セミナー開催(参加者150人)	6,262	B	民俗芸能の保存・伝承、後継者育成について継続的な取り組みが必要	民俗芸能の活用、保存、伝承等に関する業務委託	6,262
					58	みちのく芸能まつり開催事業 (2-4-4)	商業観光課	日本有数の民俗芸能が伝承される当市において、他に類を見ない民俗芸能の祭典を中心とした芸能祭開催に伴う、多くの観光客誘客と芸能の保存伝承、市民総参加によるにぎわいの創出。	▶みちのく芸能まつり開催における、花火大会市長招待席設置 ▶駐車場借り上げ ▶芸能部会、花火部会事務。 ▶花火大会における市長招待席設置工事1件。 ▶許認可関連及び使用申請等。	500	A	▶みちのく芸能まつり開催における、花火大会市長招待席設置 ▶駐車場借り上げ ▶芸能部会、花火部会事務。 ▶花火大会における市長招待席設置工事1件。 ▶許認可関連及び使用申請等。	662	

基本方針		基本施策		具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
3	誇りの持てる北上市の発信	3-2	民俗芸能活動の推進と担い手の育成	★ 民俗芸能活動の推進	59	みちのく芸能まつり事業費補助金(2-4-4)	商業観光課	【目的】日本有数の民俗芸能が伝承される本市において、他に類を見ない民俗芸能の祭典を行うことによる、多くの観光客誘客と芸能の保存伝承、市民総参加によるにぎわいの創出。 【概要】みちのく芸能まつり運営事業費に対する補助金。	▶さくらホールでの芸能公演実施 ▶おまつり広場での市民パレードと芸能公演実施 ▶花火大会の実施 ▶まつりの出演団体85団体 ▶まつり出演者1,461人 ▶(参考値)R4年度の観光入込客数1,131,966人(前年度比237,966人の増)	20,000	B	コロナにより協賛金の見通しが立ちにくい	みちのく芸能まつりの運営費に対する補助 ▶ポスター・チラシ・プログラム等の作成 ▶芸能公演・花火大会の企画、関係団体との打合せ	13,000
					60	北上市民俗芸能支援事業(1-3-2)	文化財課	北上の民俗芸能団体の芸能発表の機会を創出し、民俗芸能への理解を深め、芸能団体への活動支援、協力を呼びかける。	市内民俗芸能団体3団体の公開収録を実施	122	C	コロナのため規模を縮小せざるを得なかった	市内民俗芸能団体5団体の公開収録	210
					61	民俗芸能保存団体事業費補助金(1-3-2)	文化財課	【目的】民俗芸能を保存伝承している単位団体の伝承活動の支援と育成を図る。 【概要】民俗芸能保存団体が伝承活動するための衣装整備費や道具等修繕費の補助	芸能用具整備費の助成 2件	126	—		芸能用具整備費の助成・周年記念事業の事業費補助	300
					再	伝統文化継承事業(55の再掲)	鬼の館	【目的】民俗芸能の保存伝承と後継者育成の一助となり、鑑賞者の伝統文化に対する意識が向上する。 【概要】解説を交えた鬼剣舞公演や大乗神楽団体の総合的な公演、地域の慣習等を参加体験型で紹介する催事等を開催する。	▶芸能公演:7回8団体開催、見学者数1,129人 ▶大乗神楽大会:コロナで中止 ▶福豆鬼節分会:コロナで中止	606	B	鑑賞者と出演者の熱中症対策が必要	▶芸能公演:12回開催 ▶大乗神楽大会:1回開催、出演団体数7 ▶福豆鬼節分会:1回開催	1,389
		● 誇りの醸成	62	民俗芸能振興交流事業(1-3-2)	文化財課	【概要】定住自立圏域による民俗芸能団体の公演及び交流事業	・定住自立圏域内への芸能派遣3団体 ・「東北の風流踊」特別公演1回主催	2,044	C	コロナにより派遣自治体事業が中止になる例が多い	・定住自立圏域内への芸能派遣3団体	150		
			再	講座・体験学習会実施事業(40の再掲)	鬼の館	【目的】市民一人ひとりの鬼に対する認識と関心を深める。 【概要】親しみやすい創作活動や、地域文化の紹介と体験、より詳しい鬼に関する講座などを開催する。鬼ズブレイムミュージアム、鬼学講座、鬼つ子わんぱく講座、専任研究員設置	▶和紙面作り(通年) 93人 ▶夏冬休みワークショップ 6回 参加者40人 ▶鬼ズの日 12回 参加者数 211人 ▶鬼学講座 2回 受講者数 38人 ▶こどもの日わくわくイベント 中止 ▶夏・冬のわんぱく講座(鬼剣舞体験)(夏6回4人参加、冬5回6人参加)	5,558	B	参加者数に限りのある講座は、希望者に参加を断りしている。	▶和紙面作り(通年)(アウトリーチ含) ▶夏冬休みワークショップ 6回 ▶鬼ズの日 12回 ▶鬼学講座 2回 ▶夏・冬のわんぱく講座(鬼剣舞体験) 各6回	5,974		
			再	みちのく芸能まつり事業費補助金(59の再掲)	商業観光課	【目的】日本有数の民俗芸能が伝承される本市において、他に類を見ない民俗芸能の祭典を行うことによる、多くの観光客誘客と芸能の保存伝承、市民総参加によるにぎわいの創出。 【概要】みちのく芸能まつり運営事業費に対する補助金。	▶さくらホールでの芸能公演実施 ▶おまつり広場での市民パレードと芸能公演実施 ▶花火大会の実施 ▶まつりの出演団体85団体 ▶まつり出演者1,461人 ▶(参考値)R4年度の観光入込客数1,131,966人(前年度比237,966人の増)	20,000	B	コロナにより協賛金の見通しが立ちにくい	みちのく芸能まつりの運営費に対する補助 ▶ポスター・チラシ・プログラム等の作成 ▶芸能公演・花火大会の企画、関係団体との打合せ	13,000		
		● 特色ある資源への理解促進	63	市史編さん事業(1-3-1)	総務課	【目的】既刊の北上市史には明治時代以降の資料編と旧北上市・江釣子村・和賀町のすべてを網羅した通史編が無い。新北上市史として整備を行うもの。 【概要】市史編さん委員会及び編さん専門委員会、部会の開催、資料収集、各種調査、市史執筆の準備、広報活動、普及啓発の推進。	▶資料編「古代・中世」の刊行 ▶市史編さん委員会及び市史編さん専門委員会(各2回)開催 ▶専門部会(考古4回、古代3回、中世2回、近世3回、近代3回、現代1回、民俗5回)開催 ▶調査(考古、近代、現代、民俗) ▶刊行物販売(資料集12冊、自然9冊、古代中世36冊) ▶資料収集(寄贈2件、借用3件) ▶広報活動(広報、モニター広告、ケーブルテレビ、市民大学共催2回)	25,802	C	コロナにより調査ができない時期があり、刊行が遅れた。	▶資料編「考古」「近世」の刊行 ▶市史編さん委員会及び市史編さん専門委員会(各2回) ▶専門部会(考古3回、古代4回、中世3回、近世3回、近代3回、現代3回、民俗2回) ▶調査(考古、古代、中世、近世、近代、現代、民俗) ▶刊行物販売(北上市史、参考資料集)、資料収集 ▶広報活動(広報掲載、モニター広告、ケーブルテレビ、市民大学共催、出前講座、パネル展)	36,852		
			64	郷土資料調査員設置事業(1-3-1)	中央図書館	【目的】江戸時代の古文書、明治、大正、昭和時代の古い資料を体系的に仕分け、内容に沿った目録を作成し、北上市独自の情報を提供できる状態に整備を行う。整備した資料を提供することにより、様々な調査研究に役立つ情報を提供し、利用者に対する満足度の向上を図る。	▶江戸時代の古文書と明治・大正・昭和期の資料整理 734点 ▶目録の作成 722点 ▶修理 70点 ▶読書推進事業対応 1日 ▶参考調査対応 4件 ▶市史編さん室部会調査対応 3回	749	A		▶江戸時代の古文書と明治・大正・昭和期の資料整理 ▶目録の作成 ▶修理 ▶読書推進事業対応 ▶古文書閲覧対応 ▶市史編さん室部会調査対応 ▶市史編さん室用目録作成	787		

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
3	誇りの持てる北上市の発信	● 特色ある資源への理解促進	65	近世・近代文書調査員設置事業(1-3-1)	中央図書館	近世・近代文書の資料収集、整理、判読を行い、北上市の歴史を深く調査研究するための基礎資料として提供することにより、郷土を理解する一助として、市民のサービスの向上を図る。また、北上市に関する様々な調査、研究の依頼に対して、必要な資料の選定や調査を行う。	▶古文書解題と標題付 3,874点 ▶目録作成 1,570点 ▶目録校正 3,801点 ▶市史編さん室対応 13日	1,512	A		・古文書解題と標題付 ・目録作成 ・目録校正 ・市史編さん室対応 ・参考調査 ・古文書閲覧対応	1,710
			66	北上市みちのく民俗村管理事業(2-4-4)	商業観光課	みちのく民俗村の管理及び運営。みちのく民俗村の指定管理に係る委託。	指定管理による民俗村の管理・運営、情報発信。	62,293	—		指定管理による民俗村の管理・運営、情報発信。	62,293
			再	景観形成等事務(56の再掲)	都市計画課	【目的】市民一人ひとりが愛着と誇りをもてる郷土を創るため、良好な景観の形成を推進する。また市民の景観に対する意識を高め、地域の特性を生かした景観形成につなげていく。	▶きたかみ景観資産認定1件 ▶北上市景観賞2件 ▶景観学習9回(小学校2校) ▶景観資産認定団体支援4件 ▶行為届出書等処理件数164件	1,078	B	取組が幅広く知られていないので参加を促す工夫が必要	▶きたかみ景観資産認定 ▶北上市景観賞 ▶景観学習 ▶景観フォーラム ▶行為届出書等処理	1,628
			67	文化財説明板等設置・管理事業(1-3-2)	文化財課	市内に所在する指定文化財や旧跡等の説明板等を整備することで文化財の価値を正しく伝え、保護や活用を促そうとするもの。	国登録有形文化財の説明版設置 1か所	206	A		・市指定文化財の説明版設置・管理	354
		● 特色ある資源の保存活用	68	北上平和記念展示館運営費補助金(1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】貴重な資料の展示環境を整え、来館者のサービス向上を図る。 【概要】北上平和記念展示館の運営費支援。	▶来館者 580人 ▶開館日数195日	434	B	コロナにより来館者減少	資料保存、展示	434
			69	芸術文化振興事業(1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】芸術文化の振興及び啓発を円滑に実施するための経費や、文学碑案内板等修繕などの維持管理を行う。 【概要】北上市文化芸術推進会議を開催する。	▶文化振興ネットワーク会議1回 ▶文化芸術推進会議2回 ▶文化施策セミナー1回 ▶文学碑説明板 点検、修繕2件	255	B	基本計画の策定に遅れがでた	▶文学碑説明板 点検、修繕 ▶北上市文化芸術推進会議 2回	483
			70	収蔵資料管理事業(1-3-2)	文化財課	【目的】資料の安全・適正な管理と利便性の向上によって、市民の埋蔵文化財保護への理解を促進することを目的とする。 【概要】出土遺物・図面写真等の記録類・図書・その他資料の管理と、埋蔵文化財年報及び紀要の刊行を行う。	▶資料利用対応26件 ▶図書の受け入れ720冊(累計45,690冊) ▶未整理資料の資料化継続(藤沢遺跡、蟹沢館跡、八天遺跡、榊山遺跡) ▶北上遺跡群(2020年度)野田 I 遺跡・岡島遺跡の刊行 ▶埋蔵文化財年報の刊行(1冊)	2,201	—		・資料利用対応、図書の受け入れ。 ・未整理資料の資料化。 ・埋蔵文化財年報の刊行	2,232
			71	収蔵資料等公開事業(1-3-2)	文化財課	【目的】市内の文化財や発掘調査の成果を公開することにより、文化財・埋蔵文化財保護に対する市民の理解促進を目的とする。 【概要】埋蔵文化財展・発掘調査報告会、発掘調査現地説明会等を開催する。	▶写真展(2会場・43日間) ▶現地説明会(八天遺跡・下仙人館跡)2件 124名参加 ▶埋蔵文化財展(25日間・1,036人) ▶発掘調査報告会・講演会(50人) ▶出前講座・展示会(8件)	328	B	アフターコロナにおける事業の周知方法検討	・写真展 ・現地説明会 ・埋蔵文化財展 ・発掘調査報告会 ・埋蔵文化財講演会 ・出前講座・展示会	400
			72	史跡・文化財管理事業(1-3-2)	文化財課	【目的】史跡や文化財を適正に維持管理し、市民に公開し活用を図る。 【概要】史跡の草刈り、国指定文化財「伊澤家住宅」及び国指定史跡「榊山歴史の広場」の維持管理と公開、文化財説明板の設置や修繕	▶史跡草刈(10遺跡12カ所) ▶江釣子古墳群等立木伐採(40本) ▶成田一里塚さくら害虫防除 ▶伊澤家住宅公開(期間8か月) ▶機械警備(通年) ▶消防設備点検(2回) ▶駐車場借上げ(1カ所) ▶縄文館の開館(8か月) ▶縄文館軒裏天井修繕 ▶既存説明版撤去1カ所、修繕1カ所、更新4カ所	9,425	—		史跡管理(史跡草刈(10遺跡12カ所)・倒木処理・害虫防除)、伊澤家住宅管理(公開期間8か月・機械警備・消防設備点検・建物小修繕・駐車場借上げ)榊山歴史の広場管理(縄文館開館8か月・小修繕)	10,014
			73	文化財保護事業(1-3-2)	文化財課	【目的】文化財を保存し、かつその活用を図り、もって市民の文化的向上に資する。 【概要】文化財関係団体への指導・助言、文化財照会への対応、文化財管理	▶文化財関係団体への指導助言・指定文化財の管理・文化遺産総合活用推進事業への申請 ▶文化財関係研修会派遣等(1回) ▶文化財防火デーに合わせた査察(1回)	317	—		▶文化財関係団体への指導助言・指定文化財の管理・文化遺産総合活用推進事業への申請 ▶文化財関係研修会派遣等 ▶文化財防火デーに合わせた査察	708
			74	文化財悉皆調査記録保存事業(1-3-2)	文化財課	【目的】地域の未指定文化財をテーマごとに全市的に調査し、その所在や保存状況、価値等を把握するとともに価値ある文化財の保存伝承に資する。また郷土の歴史や文化を学習する文献資料として活用を図る。 【概要】未指定文化財の調査	▶未指定文化財の調査準備(板碑3件、建造物1件)	20	C	至急案件対応により当初計画より調査が遅れた	未指定文化財の調査(鰯口・絵馬3件)	62



基本方針		基本施策		具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
3	誇りの持てる北上市らしきの発信			● 特色ある資源の保存活用	75	八天遺跡保存活用・整備計画策定事業(1-3-2)	文化財課	【目的】国指定史跡八天遺跡の保存活用を図るため遺跡の整備を行う。市民の歴史学習の場としての活用とともに、更木地区のシンボルの1つとし、地域づくりの活性化、交流人口の増加を目指す。 【概要】整備基本計画策定に向けた検討作業、文化庁・県教育委員会・更木地区・関係機関との協議調整、策定委員会の開催、令和5年度国庫補助金申請	▶文化庁・県教育委員会・更木地区・関係機関との協議調整 ▶保存活用計画当策定委員会の委員委嘱 ▶保存活用計画当策定委員会開催3回 ▶令和5年度国庫補助金申請	975	A		整備基本計画策定に向けた検討作業、文化庁・県教育委員会・更木地区・関係機関との協議調整、策定委員会の開催、令和6年度国庫補助金申請	1,136
					76	調査研究・資料収集等事業(1-3-1)	博物館	【目的】人文・自然科学両面からの調査研究及び資料の収集・整理・保管を行うとともに、その成果を冊子として発行したり出前講座等で報告することで、郷土に対する知的財産の蓄積と共有を図り、市民の多様な学習ニーズに応えていく。 【概要】調査研究冊子発行、専任研究員設置、資料受け入れと整理、収蔵庫の保存環境整備	▶調査研究冊子発行：北上市立博物館研究報告第23号 500部発行 ▶専任研究員等設置：専任研究員1人(会計年度任用職員)、研究員2人 ▶研究員講師を学習活動へ派遣5件(322人) ▶適宜資料受入・整理。展示関連資料調査。展示室、収蔵庫の保存環境整備。	3,449	A		▶発行済図録増刷。 ▶専任研究員等設置：専任研究員2人(会計年度任用職員)、研究員2人を学習活動へ派遣 ▶適宜資料受入・整理。展示関連資料調査。展示室、収蔵庫の保存環境整備。	3,727
					77	教育普及事業(1-3-1)	博物館	郷土及び収蔵資料等の調査研究に基づいた展示会や学習会を実施し、郷土に関わる多様なテーマについて学びの機会を提供する。	▶企画展示等事業：企画展7回、テーマ展1回計11回 ▶教室学習会開催事業：特別展関連講座3回、企画展関連講座(刀剣講座)6回 ▶自然観察会2回 ▶工作教室中止 ▶展示解説会6回	1,112	B	学芸員の減により業務過多。	▶企画展示等事業：企画展6回 ▶博物館開館50周年記念事業：記念式典、記念シンポジウム、特別展 ▶教室学習会開催 ▶企画展関連講座(刀剣講座) ▶自然観察会、工作教室、展示解説会実施	1,241
					78	埋蔵文化財センター管理事業(1-3-2)	文化財課	【目的】施設を適正に維持管理する。 【概要】埋蔵文化財センター管理及び第2収蔵庫の管理、機械器具類の購入。	▶埋蔵文化財センター施設維持管理のための業務委託1件 ▶旧教育施設維持管理のための業務委託3件 ▶敷地の賃借	3,167	—		▶施設維持管理のための業務委託継続 ▶敷地の賃借	3,456
					79	常設展・企画展等(1-3-1)	鬼の館	【目的】鬼について学習する機会を提供することで鬼についての理解や知識が向上する。また、施設開放事業を行うことで市民が博物館施設を活用しやすくなり情報交換が活発化する。 【概要】常設展示の内容を補足拡大する企画展・特別展や展示室等の施設開放事業を実施する。	▶企・特別展3回 見学者数 13,972人 ▶ナイトミュージアム 中止 ▶入館者数17,571人 ▶催事カレンダー7,000部 ▶鬼の館だより400部×2回 ▶購入資料数1点 ▶30周年プレ事業	798	B	収蔵資料の種類や数が少なく、似た企画になりやすい。	▶企・特別展開催 ▶ナイトミュージアム開催 ▶催事カレンダー7,000部 ▶鬼の館だより400部×2回 ▶資料購入 ▶30周年記念事業	838
4	しくみづくり	4-1	● 専門人材の確保と育成	80	職員研修事業(1-3-2)	文化財課	埋蔵文化財調査担当職員の専門技術研修への参加及び県内・県外への研修派遣等により、より新しい専門的な知識・技能の取得	奈良国立文化財研究所文化財専門研修1名参加	58	C	コロナにより予定の研修に参加できなくなっている	—	—	
				再	調査研究・資料収集等事業(76の再掲)	博物館	【目的】人文・自然科学両面からの調査研究及び資料の収集・整理・保管を行うとともに、その成果を冊子として発行したり出前講座等で報告することで、郷土に対する知的財産の蓄積と共有を図り、市民の多様な学習ニーズに応えていく。 【概要】調査研究冊子発行、専任研究員設置、資料受け入れと整理、収蔵庫の保存環境整備	▶調査研究冊子発行：北上市立博物館研究報告第23号 500部発行 ▶専任研究員等設置：専任研究員1人(会計年度任用職員)、研究員2人 ▶研究員講師を学習活動へ派遣5件(322人) ▶適宜資料受入・整理。展示関連資料調査。展示室、収蔵庫の保存環境整備。	3,449	A		▶発行済図録増刷。 ▶専任研究員等設置：専任研究員2人(会計年度任用職員)、研究員2人を学習活動へ派遣 ▶適宜資料受入・整理。展示関連資料調査。展示室、収蔵庫の保存環境整備。	3,727	
				再	郷土資料調査員設置事業(64の再掲)	中央図書館	【目的】江戸時代の古文書、明治、大正、昭和時代の古い資料を体系的に仕分け、内容に沿った目録を作成し、北上市独自の情報を提供できる状態に整備を行う。整備した資料を提供することにより、様々な調査研究に役立つ情報を提供し、利用者に対する満足度の向上を図る。	▶江戸時代の古文書と明治・大正・昭和期の資料整理 734点 ▶目録の作成 722点 ▶修理 70点 ▶読書推進事業対応 1日 ▶参考調査対応 4件 ▶市史編さん室部会調査対応 3回	749	A		▶江戸時代の古文書と明治・大正・昭和期の資料整理 ▶目録の作成 ▶修理 ▶読書推進事業対応 ▶古文書閲覧対応 ▶市史編さん室部会調査対応 ▶市史編さん室用目録作成	787	

基本方針	基本施策	具体的施策	No.	事務事業名 ※カッコ内は、北上市総合計画の(目標・基本方針・基本施策)の順に関連番号を記載しています。	担当課	事業の目的と概要	R4年度実績	R4実績 (千円)	一次評価 (担当課) A:順調 B:概ね順調 C:遅れている	課題	(※参考資料) R5年度計画	(※参考資料) R5予算 (千円)
4 しくみづくり	4-2 多様な分野との連携	★ ネットワークの構築	一	(1つの事業として評価項目をおこしてはいるが、課題解決や今後の方針決めなど、関係団体や関係部署と随時情報共有・協議している。)	生涯学習文化課	教育・福祉・観光・産業等の多様な関係団体と連携し、それぞれの課題や情報を共有しながら文化芸術を生かした課題の解決のため分野を超えた会議を実施する。	▶鬼剣舞衣装の担い手の現状について、商業観光課、文化財課、衣装作成業者と情報共有。	—	—		▶民俗芸能の活用、保存、伝承等に関して、民俗芸能協会への委託内容検討のため、商業観光課、文化財課、鬼の館と協議	—
		● 施設間連携	再	利根山光人記念美術館企画事業(19の再掲)(1-3-2)	生涯学習文化課	【目的】利根山光人記念美術館が北上市民に身近な存在となり入場者が増加する。 【概要】企画展や出前美術館、親子秋まつりを開催することで利根山光人記念美術館への関心の高揚を促すとともに、芸術文化の振興を図る。	▶企画展3回実施(入館者935人) ▶移動美術館(花巻空港) ▶子どもアートスクール1回(参加者9名) ▶絵画教室年10回(参加者9名)	2,595	A		子どもアートスクール1回、親子秋まつり 1回、絵画教室年10回 ◆【新】企画展の3館合同連携実施(博物館・鬼の館・生涯学習センター) ◆【新】子ども施設での創作活動アウトリーチ実施予定	2,604
	4-3 ネットワークを活用した情報や知識の共有	● ICTの活用	一	(1つの事業として評価項目を設置していないが、各事業のターゲットや特性に応じて、SNSを活用している)	全課	SNSやホームページなどを活用した情報発信	各事業でSNS周知やQRコード申込を実施 例1:No39おかあさんの詩全国コンクール(インスタグラム)で過去作品を紹介。 例2:No19秋の美術館まつりと子どもアートスクールはLINEから申込ができるよう設定。	—	—		R4の取り組みを継続実施	—
		● アーツカウンシルの創設	一	評価事業として未設定	生涯学習文化課	地域の文化芸術を熟知し、マネジメントやコーディネート力を備え、施策の推進に関する専門知識を持った人材による横断的な活動により、社会的課題を解決に導くアーツカウンシルの創設に向けての調査研究	—				R5～調査・研究開始	—